

III. 海外の標本

(1) 枕状溶岩 露頭型取り、実物復元標本

標本番号 KPM-NL 439

標本名 枕状溶岩 露頭型取り、実物復元標本

大きさ 幅 5 m, 高さ 10 m

重量 展示中のため不明

形状・展示・収納状況 型は薄い絨毯状で、長辺方向に巻いて平置きスペースに収納。小ブロック状に採集した標本を型に合わせて復元して常設展示(地球展示室)

採集地 カナダ北西準州イエローナイフ ジャイアント鉱山敷地内

緯度・経度 N62°29'59", W114°21'31"

露頭の種別 金属鉱山敷地内の氷河による侵食形状が残る大露頭

露頭面の向き、傾斜 氷河による平坦な侵食地形面

堆積物の種別 緑色岩 (元は玄武岩質から安山岩質のソレライト質火山岩)

年代 約 27 億年前

採集作業 森山哲和 (考古造形研究所)

採集立会い者 有馬 眞

採集日 1994 年 1 月 21 日

関連文献等

森山哲和 (1995) 展示技法の事柄などから 自然科学のとびら, 1(3): 18-19.

Brian L. Cousens (2000) Geochemistry of the Archean Kam Group, Yellowknife Greenstone Belt, Slave Province, Canada. *The Journal of Geology*, **108**(2): 181-197. DOI: 10.1086/314397

Helmstaedt H., W. A. Padgham and J. A. Brophy (1986) Multiple dikes in Lower Kam Group, Yellowknife greenstone belt: Evidence for Archean sea-floor spreading? *Geology*, **14**(7): 562-566. doi: 10.1130/0091-7613(1986)14<562:MDILKG>2.0.CO;2

Isachsen C. E. and S. A. Bowring (1994) Evolution of the Slave craton. *Geology*, **22**(10): 917-920, doi: 10.1130/0091-7613(1994)022<0917:EOTSC>2.3.CO;2

解説 展示されている枕状溶岩は、約 27 億年前に海底で噴出した玄武岩質から安山岩質のソレライト質火山岩である。カナダの北西準州南部のスレーブ地塊には、太古代の緑色岩帯である Yellowknife greenstone belt が存在する。その緑色岩帯を構成する地質帯に、Kam Group と呼ばれる火山岩体があり、枕状溶岩もその構成岩石である。枕状溶岩の露頭は氷河によって平坦に削剥されており、その表面には氷河の擦痕が認められる。

標本は、露頭で型取りを行い、その後岩石用ドリルを用いて岩石の採集を行った。室内作業では、型に合わせて岩石小片の組み合わせを行い、現状復元を行った。展示物には、枕状溶岩の形状や脱ガスした後の空隙が復元されている。展示物の表面は、ゆるく波打ったよう形状や横方向に線状構造があるが、それは氷河が枕状溶岩の上を流れた際に削った形状が復元されたものである。

記録者 平田大二



図 III-1-1. 型取りおよび実物復元作業の様子。2 回の型取り作業によって表面の形状と色をそれぞれ写し取り、その型取りを元に、岩石用ドリルで採集した岩石小片を組み立てた。



図 III-1-2. 採集地点の露頭の様子.

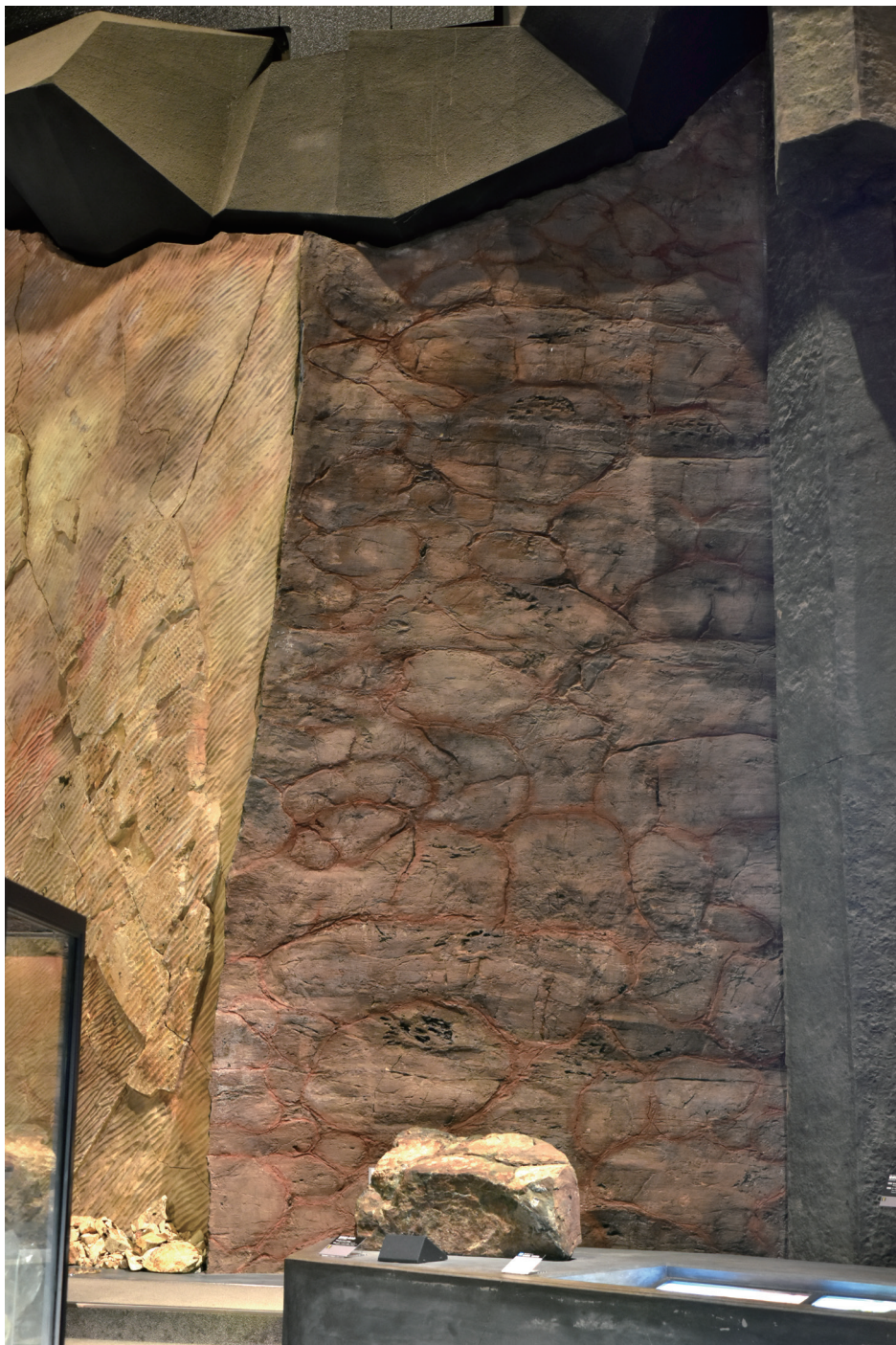


図 III-1-3. 標本の展示の様子 (地球展示室).